

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

本号も、岩月幸一先生の failed back syndrome に関する総説、村橋威夫先生のくも膜下出血後脳血管攣縮に関する研究など、多彩な内容が盛り込まれている。「扉」の中で藤巻高光先生は、「女性医師がそのキャリアを妨げることなく出産できる社会を作っていかななくてはならない」と述べられている。今や医学部生に占める女子の割合はかつてとは比較にならないほど高い。彼女たちはキャリアとプライベートとの両立に際して多様な人生観を持ち、その多様性に柔軟に対応できないようでは否応がなしにわれわれの診療科は down sizing せざるを得なくなる。そうなれば組織としてのチカラが低下喪失する。藤巻先生のいわれる「零細企業」であるがゆえに、画一的ではない柔らかな対応に活路を求めることが必要になる。

さて、本誌には多数の症例報告が掲載されている。私は若者にはできるだけ症例報告を書くよう勧めている。多くの医師にとって初めての学会発表や論文執筆の対象はたいいてい症例報告であり、症例報告は論文執筆への入門編ともいえる。編者の教室でデータをとってみたところ、専門医を取得する前に英文で症例報告の執筆した経験をもつ者ともたない者との間には、生涯の論文業績には有意な差があった。一方、海外商業出版社が発行する英文雑誌では impact factor (IF) を低下させる因子として症例報告を敬遠する傾向がある。この原因の1つは海外商業出版社の従来型戦略にある。その戦略とは購読者(図書館)支払いモデルであり、できるだけ多数の医学誌の委託出版を行い、様々な情報戦略により雑誌の IF を上げて自社の公開プラットフォームのみで公開し、図書館などにパッケージとして販売するというものである。しかし、オープンアクセスの時代を迎えて、このビジネスモデルはすでに曲がり角にきている。読者の検索行動はすでに Google Scholar や PubMed 中心になっており、出版社のもつ公開プラットフォームとは限らない。また、投稿数が増えるほど収益があがる著者支払いモデルが台頭してきている。時代の変化と共に、それぞれの医学雑誌はいかなる読者対象をもち、どのような特長をもつべきかを考えていかねば存在意義が薄れてしまう。母国語による症例報告を多く掲載し、若い脳神経外科医の論文作成能力を育むということも、本誌にとっての重要な役割ではないかと考える次第である。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第41巻第5号)

2013年5月10日発行(毎月1回10日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

[2013年 年間購読料(税込、送料弊社負担)]

冊子版/通常 32,760 円、冊子版/個人特別割引 30,030 円、冊子+
電子版/個人特別割引 35,030 円、冊子+電子版/共有 42,700 円、
電子版/個人特別割引 30,030 円、電子版/共有 37,700 円

E-mail : noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID : noge パスワード : noge

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能性を含む)は(株)医学書院が保有します。
• 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

• **JCOPY** (®) 出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(®)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。